

適用題を効果的に使っていただくために

「プロジェクト研究」小学校国語科教育研究委員会では、適用題を「児童が単元を通して身に付いた力(指導事項)を活用して解く問題」として研究を進めてきました。本研究では、児童が単元を通して身に付いた力を活用することができ、教師が児童に身に付けさせたい力を確かめることができるような適用題の作成に取り組んでいます。

本研究で提案している適用題は、各学級で取り組む言語活動や授業の進め方によっては、そのまま使っていただくことが難しい場合があります。適用題や適用題作成準備シート（学習課題、言語活動、単元計画など）の内容を確認していただき、必要に応じて、紹介している適用題を学級の実態に応じて調整してお使いください。



◇◇◇ 適用題作成準備シート ◇◇◇

学年(3年) 教材文「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書3年下)

ステップ
1

- ・ 児童に身に付けさせたい力を確認する。(学習指導要領・教科書)
- ・ 身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動を設定する。

□児童に身に付けさせたい力

登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて想像することができる力

□身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動

「あのとき」「このとき」カードにまとめたことを基に感想文を書く

ステップ
2

- ・ 学習課題を設定する。(指導事項・思考操作・言語活動)
- ・ 単元の指導計画を立てる。

□学習課題

A:身に付けさせたい力(指導事項)

登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて想像することができる

B:思考操作

「あのときの場面」と「このときの場面」の出来事や登場人物の気持ちを比べる

C:言語活動

「あのとき」「このとき」カードにまとめたことを基に感想文を書く

【児童に提示する学習課題】

この単元では、登場人物の気持ちの変化を場面のうつりかわりと結び付けてそうぞうすることができるようになる学習をします。

かたは、**「あのときの場面」と「このときの場面」**の出来事や登場人物の気持ちをくらべて、感想文を書くことです。

□単元の指導計画

(8) 時間

時間	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しを持つ。 ・学習課題や学習計画を確認する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を通して、人物や出来事、構成を読み取る。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2の場面で起こる出来事や登場人物の気持ちを比べ、「あのとき」「このとき」カードを書く。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・3, 4の場面で起こる出来事や登場人物の気持ちを比べ、「あのとき」「このとき」カードを書く。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・4, 5の場面で起こる出来事や登場人物の気持ちを比べ、「あのとき」「このとき」カードを書く。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・「あのとき」「このとき」カードにまとめたことを基に、一番心をうたれた場面を中心に感想文を書く。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・感想文を紹介し合い、友達の作品のよさを伝え合う。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返る。

※適用題の実施

ステップ 3

・適用題の作成

□適用題の内容

教材文「 お手紙 」を使って、(「あのとき」「このとき」カードを書く) 言語活動の場面を想定した問題です。